

地域密着型金融推進計画の進捗状況

(平成17年4月～平成19年3月の進捗状況)

鹿児島興業信用組合

I. 計画の全体的な進捗状況

当組合は地域密着型金融推進計画を平成17年8月に提出後、全役職員に対し、策定した計画の趣旨、内容、実施スケジュール等を周知徹底し、本計画への理解を深めるとともに、具体的な取組に着手いたしました。

進捗状況については、「リレーションシップバンキングの機能強化計画」を引き継いだ項目も数多くあり、スケジュールに則り着実に計画を実施しております。

大項目毎に進捗状況は下記のとおりであり、今年度におきましても引き続き、地域経済の活性化に寄与するよう努力してまいります。

II. 大項目毎の取組み

当組合の「地域密着型金融推進計画」への17年4月から19年3月までの取組みの進捗状況は、

1. 事業再生・中小企業金融の円滑化
2. 経営力の強化
3. 地域の利用者の利便性向上

毎に、次のとおりです。

1. 事業再生・中小企業金融の円滑化

(1) 創業・新事業支援機能等の強化

中小企業融資制度等の研修による融資審査能力の向上や、渉外担当者の実践訓練等の実施による融資営業の強化等の人材育成を図りました。

また、平成17年4月に中小企業金融公庫、商工組合中央金庫及び国民生活金融公庫と業務連携を締結し、協調による融資案件への取組みも行っていきます。

協調融資実績 : 7件 32,250万円

創業支援融資実績 : 16件 6,800万円

また、エンジェルパートナーシップ(産・学・官NPO連携によるプラットフォーム構想)への参画を行い創業新事業への取組も実践しております。

(2) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化

ビジネスマッチングの一環として、当組合の取引先組織であります興人会・同人会による勉強会や名刺交換会を通じた異業種交流の機会拡大や、取引先の紹介誌「こうしんホットライン」の作成等の取組を実施いたしました。

また、渉外担当職員等のスキルアップのために、従来から実施している毎月第2土曜日の研修会や融資渉外力強化・情報収集力強化のための実践訓練を継続しており、他にも営業店次席者を対象とした融資推進のためのスキルアップ研修、営業店窓口女性を対象とした消費者ローン受付研修等も実施しております。

要注意先債権等の要警戒先の健全債権化に向け取り組んだ結果、平成17年度においては債務者区分がランクアップとなった先は7先、平成18年度においては3先でした。引き続き健全債権化のため対応してまいります。

(3) 事業再生に向けた積極的取組み

事業再生の取組み先はありませんでした。

再生案件をスムーズに対応するため、当組合の顧問弁護士や顧問公認会計士との協力関係と併せて中小企業再生支援協議会との連携を強化するための対応も行っています。

また、民間の事業再生の専門機関であるCRC企業再生組合の実施する、経営改善の手法やキャッシュフロー経営等に関するセミナーに参加し職員の能力向上にも努めています。

(4) 担保・保証人に過度に依存しない融資の推進等

保証協会との連携商品である「ステップ保証」及び「売掛債権化ローン」の推進を図った結果、「ステップ保証」10件、10,250万円の融資実績となりました。

(5) 顧客への説明態勢の整備・相談苦情処理機能の強化

店長会議等で苦情相談の事例と対応策を報告し、苦情対応についての充実を図りました。

説明態勢を徹底するため融資説明マニュアルを平成18年6月に整備し、各店課へ配布すると同時に、研修会を実施しました。

(6) 人材の育成

渉外担当者を中心とした職員の審査能力やコンサルティング能力等の向上を図るため、外部研修への参加や研修会等を計画し、外部講師による研修を12回、内部講師

による研修を25回実施しました。

さらに、営業店長及び次席者を対象に外部講師による日商簿記の研修を行い、日商簿記3級を受験しました。

2. 経営力の強化

(1) リスク管理態勢の充実

平成19年3月末から適用された新BIS規制（新自己資本比率規制）の第二の柱で求められているアウトライヤー（金利変動により金利リスク量が自己資本の20%を超える金融機関）基準等については、金利変動に対応するリスク管理手法の構築や公表の方法等を検討する予定です。

(2) 収益管理態勢の整備と収益力の向上

管理会計による収益採算の把握と、これに基づく経営戦略の策定および業績評価制度の見直し等については管理会計についての調査のみに止まり、基準金利の試算は実施できなかった。今後、中央協会から管理会計における収益管理の方法を協議し、業績評価に結びつけていきます。

(3) ガバナンスの強化

平成18年7月発行の平成17年度ディスクロージャー誌において下記の項目を開示しました。

- ・総代会の仕組みと機能、状況
- ・総代の役割、総代の選出方法
- ・総代選出区域、総代定数

また、平成18年12月には、上記内容についての説明を兼ねて理事による総代訪問を実施しました。

(4) 法令等遵守（コンプライアンス）態勢の強化

コンプライアンスに関する研修会への参加や組合内研修の実施、法令等遵守に関する各営業店のチェック表やコンプライアンス・プログラム、勉強会の内容について定期的に報告を受け、法令等遵守態勢の徹底を図っています。

個人情報保護については、パソコン情報管理システムである「秘文」を平成18年5月に稼働させ管理態勢の強化を図りました。また、保護態勢を強化するため個人情報保護に関する規程や要領、コンプライアンス管理規程やマニュアル等の改訂を行って

おります。

(5) ITの戦略的活用

IT環境を充実させるためパソコンの増設や旧型パソコンのリプレースを行いパソコン環境の整備を行いました。日常の業務効率化等での活用を充実させる事はもちろんの事、お客様への情報サービスを充実させるため、情報系データの有効活用、融資管理のためのソフトの導入等を随時検討してまいります。

なお、パソコン環境整備に伴いセキュリティー向上を目的とした情報漏洩防止のための管理ソフトを導入し万全の管理体制となっております。

また、お客様の取引を拡大するためのビジネスマッチングや経営上の的確な助言が行える経営診断システムを提供し、資金供給者としての役割に止まらず情報面で果たせるサービスについて取り組んでまいります。

3. 地域の利用者の利便性向上

(1) 地域貢献に関する情報開示

平成18年7月にディスクロージャー誌を、11月にミニディスクロージャー誌を営業店に備え置き地域貢献等に関する情報を開示いたしました。また、ホームページにも地域貢献等に関する情報の開示や地域金融機関の特徴を紹介する「信用組合とは」をわかり易くQ&A形式で掲載を行いました。なお、ホームページでの開示をより充実した内容とするため現在リニューアル作業を行っております。

(2) 地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立

窓口担当者に対して商品知識と接客対応の研修を実施しました。また、キャッシュカード不正利用対策やキャッシュカード盗難による被害の防止策と万一の場合に備えた保障等の対策を行いました。利用者満足度アンケート調査を実施した結果を分析し、抜粋してディスクロ誌に掲載したほか、ご要望・ご意見等を項目別に分類して全役職員に周知・認識させ、改善（計画）策に沿って逐次改善を実施しております。18年度も利用者のご意見やご要望を把握するため、19年1月にアンケート調査を実施し全店から1,379の貴重な回答が寄せられました。現在集計・分析を終えた段階であり、ご要望等については全役職員に周知させ改善に取り組む予定です。

(3) 地域再生推進のための各種施策との連携等

地域再生に関する地公体等への取組みは、十分に行うことができませんでした。

今後は、地公体や商工団体等の関連部署への接触を積極的に行い、関係強化を図っていきます。社会貢献に考慮した「エコ定期預金」や「すこやか積金」の新商品を取扱い、環境対策としてのゴミに対する関心や少子化対策に配慮した企画として好評を得ており、今後も継続して取り扱います。

以 上